

# 令和7年度 学校評価（自己評価）について

## 1. 教育目標

- ・幼児期より、たくましく生きる力を育てる。
- ・挨拶や行事などを通して、お互いを認め合う心を育てる。

## 2. 今年度の重点目標

- ・心身共に丈夫で、最後まであきらめない心を育てる。
- ・異年齢保育(縦割り保育)を増やし、より思いやりや社会性、主体性を育む。

## 3. 評価事項と取り組みの状況

| N0 | 評価項目                               | 取り組み内容                                                                     | 評価 | 取 り 組 み 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 教育方針<br>目標                         | 自然の多い広い園庭で活動しながら心身の安定を図る。<br>運動会、発表会などに参加して、自信を持つ。                         | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い園庭で思いきり活動することにより、園児の体力作りに力を入れている。</li> <li>・運動会、発表会などの行事を通して、他児や自分の良い所を見つけ、お互いに認め合う心を育てている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 2  | 教育課程の<br>編成                        | 幼稚園教育要領をふまえ、園の教育方針に従い編成されている。                                              | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日カリキュラムを基に、各学年、各クラスとの保育の取り組み方への共通理解を図る。</li> <li>・満3歳児クラスが増え、より異年齢保育活動を活発化させる。<br/>(園庭や保育室で一緒に自由遊びを楽しむ。昼食を一緒に食べる。製作やゲーム遊びなどの設定保育を一緒にする。)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |
| 3  | 教育環境の<br>構成                        | 園児を温かく受け入れる環境を作る。<br>参観を通して、家庭と園との相互理解を深める。                                | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が園児に笑顔で挨拶したり接することにより、園児の心の安定や成長を図る。</li> <li>・プール参観や給食参観など普段の保育の様子が分かるものを増やし、子ども達が楽しく頑張っている様子を保護者にみていただく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                        |
| 4  | 研修・研究会<br>への参加による<br>全保育者の<br>共通理解 | 研修に参加し、学ぶ事によって、たくましく生きる力を育てる教育を工夫する。                                       | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだ事を他の保育者にも伝え、学びの共有を行い、より良い保育につなげる。</li> <li>・いろいろな経験をする中で自分の得意分野を見つけ、自己肯定感を養うように行事や保育を工夫している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5  | 安全管理                               | 避難訓練・交通安全指導などを行っている。<br>緊急時の対応について、全教職員が共通理解を持つように取り組んでいる。<br>園舎外壁改修工事を行う。 | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の警察署に依頼し、園児に分かりやすく園独自の信号機や遮断機を使いながら交通安全指導を行い、近隣の消防署に依頼し、火災の避難訓練も行っている。<br/>また、園独自で津波を想定した避難訓練も行っている。</li> <li>・スムーズに逃げられるように、園児の避難経路を定めている。</li> <li>・監視カメラ・防犯ブザー・オートロック式扉・出入口の職員の監視など、常に園全体の様子を把握できるようにしている。門にガードマンを配置し、登園・降園時の不審者の監視のみならず、保護者の交通安全を見守る。</li> <li>・毎朝園児が登園してくる前に、遊具および保育室内の安全点検を行っている。</li> <li>・園舎外壁改修工事を行い、園児が安心して過ごせる環境を維持する。</li> </ul> |
| 6  | 子育て支援と<br>地域との関わり                  | 子育て支援事業の一環として、預かり保育を行う。<br>園庭開放行い、地域に開かれた幼稚園として活動する。                       | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝から預かり保育を行ったり、夏休みなどの長期休暇にも行うなど、保護者のニーズに応えるよう努めている。<br/>保護者の子育て支援として、仕事の有無に関わらず、預かり保育が利用できるようにしている。</li> <li>・未就園児対象に毎月園庭開放を行い、季節に応じたイベントや、普段家庭で出来ないようなダイナミックな内容の保育を行っている。<br/>また、就園・未就園児に関わらず、保護者から子育ての悩みなどを聞き、子育て支援の役割を果たしている。<br/>公園の清掃など、地域に貢献する取り組みを行う。</li> </ul>                                                                                        |

<評価の基準> A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが、成果が十分でない D：取り組みが不十分である

#### 4. 学校評価（自己評価）の総合評価結果

- ・異年齢保育を活発化させることにより、社会性や協調性を育み、お互いにより影響を与え合うことができた。
- ・園舎外壁に生じたひび割れや塗装の剥がれを修繕することにより、建物の安全性と耐久性を確保し、園児が安心して過ごせる環境を整えた。
- ・今後も活動内容をしっかり考え、安全に配慮しながら行っていきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

- ・より良い保育をするため、保育者が研修会に参加し、研究する機会を更に増やす。
  - ・園庭開放や未就園児教室により充実したものにし、園の保育内容や取り組みなども知ってもらえるよう工夫していく必要がある。
- また、連携している保育所園とも今以上に連携を図り、地域との関わりをより深め、幼稚園としての役割を考えていく。